

2016年6月期 第1四半期決算説明資料 (JQS 3916)

2015年12月

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社



- 1. 中期目標と2016年6月期の見通し**
2. 成長戦略と進捗状況
3. 2016年6月期 第1四半期決算概要

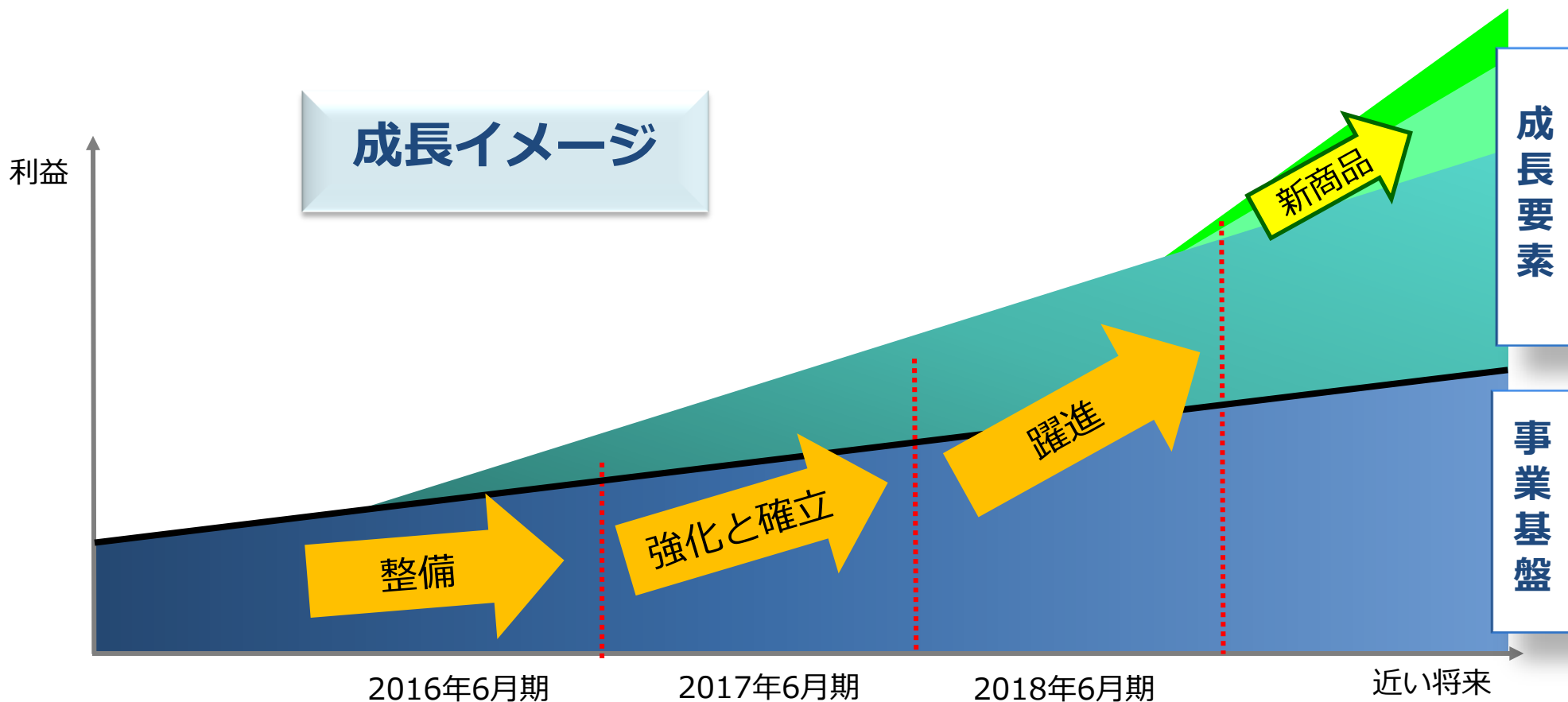
【二軸の事業推進】

事業基盤

■幅広い事業領域で顧客との安定的な取引

成長要素

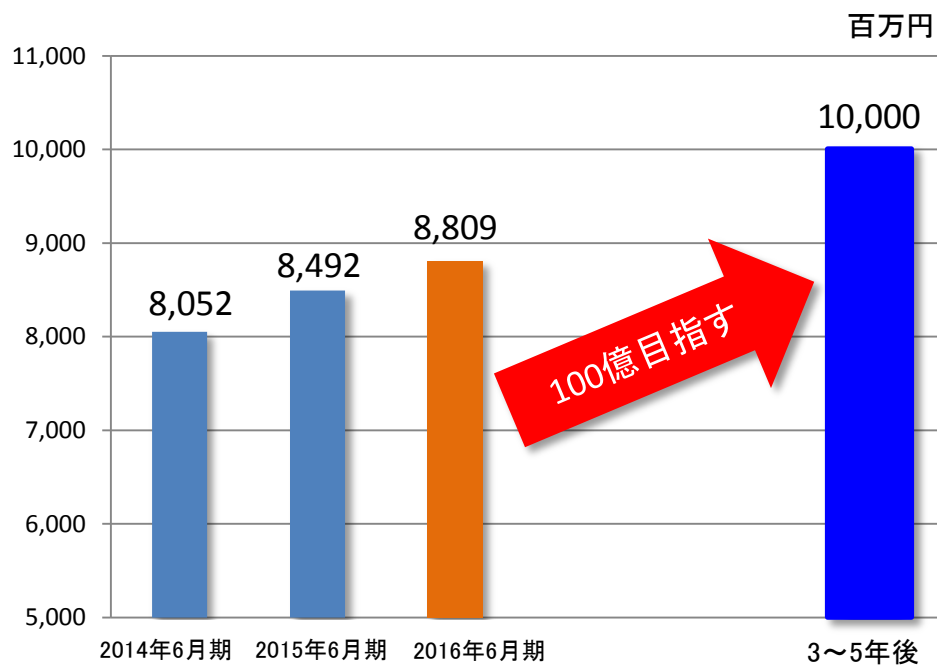
■自社商品を軸とした新しい価値の提供



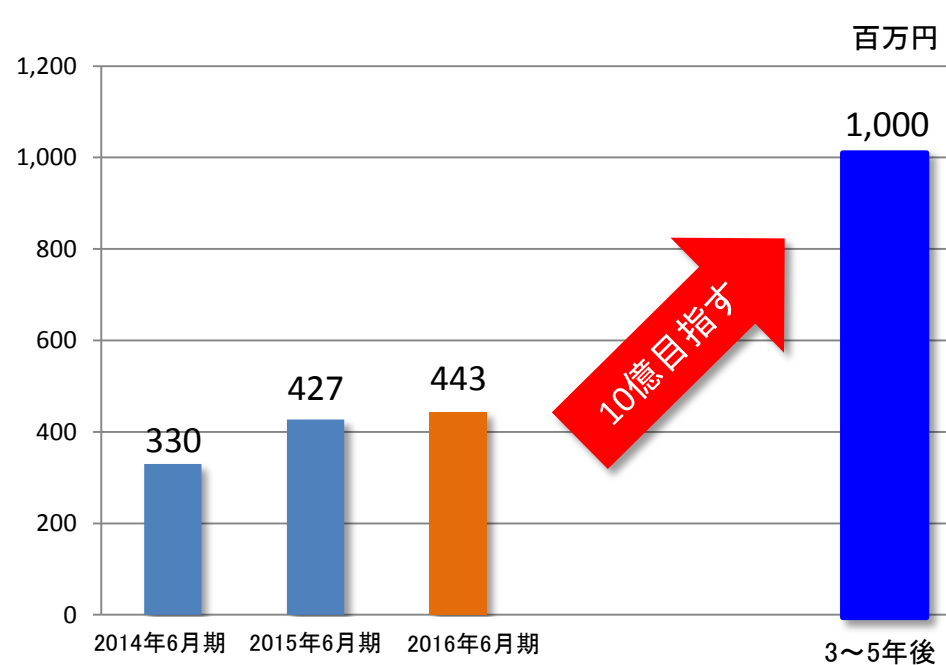
中期目標
(3~5年以内)

売上高:100億円 営業利益:10億円を目指す

■売上高



■営業利益



売上高

- 期初計画: 8,809百万円
- 前期比: +316百万円(+3.7%)

営業利益

- 期初計画: 443百万円
- 前期比: +16百万円(+3.9%)
- 営業利益率: 5.0%

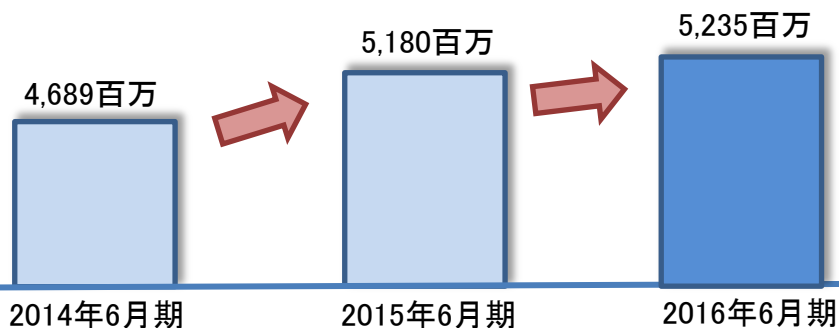
2016年6月期は、過去最高の売上・利益の見通しとなるものの、

- ・成長へ向けた投資(116百万円)を行う
(新商品開発費用・教育研修施設及び社内システムリニューアル等)
- ・WebARGUSはストック型ビジネスのため、売上・利益貢献には時間がかかる
という要素を織り込んでいます

■セグメント別売上高の見通し

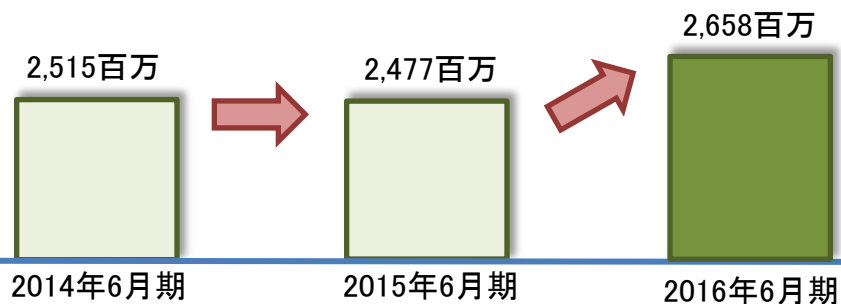
ビジネスソリューション事業

- 売上高: 5,235百万 / 前期比 +1.1%
- ・金融分野・運用サービス堅調(+)
- ・運輸の大型プロジェクト終了(-)



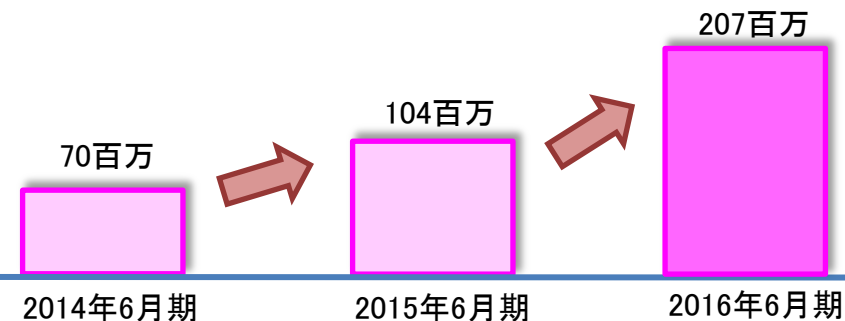
エンベデッドソリューション事業

- 売上高: 2,658百万円 / 前期比 +7.3%
- ・車載分野の拡大(+)
- ・医療分野の拡大(+)



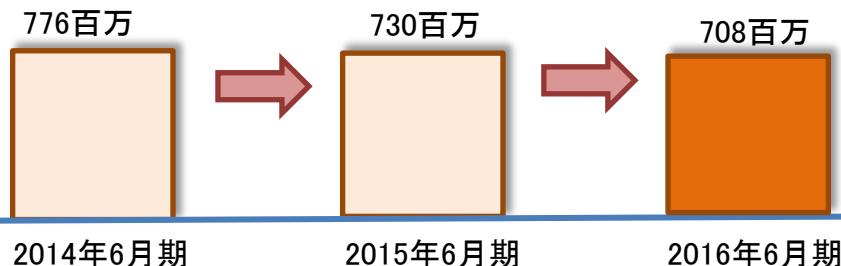
その他事業(自社商品事業)

- 売上高: 207百万円 / 前期比 +98.9%
- ・代理店強化及び協業による売上拡大(+)
- ・商品拡充による売上拡大(+)



コンピュータ販売事業

- 売上高: 708百万円 / 前期比 -3.0%
- ・新規顧客獲得・重ね売り(+)
- ・リプレース案件一服(-)



1. 中期目標と2016年6月期の見通し
- 2. 成長戦略と進捗状況**
3. 2016年6月期 第1四半期決算概要

ビジネスソリューション事業

成長戦略		第1四半期：進捗状況
項目	内容	
■成長分野への注力	①強みである金融分野の深掘り、横展開	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して金融系が好調に推移 ・地方銀行の横展開実施中
	②成長著しい顧客に歩調を合わせた運用サポート事業の更なる拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・順調に受注拡大中
■地方拠点を活かした事業拡大	①地方拠点を活用した潜在能力の高い人財の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛カンパニー採用(7名) ・東日本センター採用(4名)
	②IT多目的センターの更なる活用 (有能な技術者で構成、あらゆる仕事に対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・自社商品の開発として活用中
	③地方の優良企業を新規顧客として開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の優良企業でビジネス拡大中 ・新規顧客開拓中
■トータルサービスの提供	幅広い顧客ニーズに対し、開発、保守、インフラ等それぞれをサービスの部品と捉え、提供することで事業拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・運用サポートで入り込んでいた顧客で新たに開発案件も拡大中

エンベデッドソリューション事業

成長戦略		第1四半期：進捗状況
項目	内容	
■今後の成長が見込める車載事業への注力	モバイル開発で培った通信技術を車載機器開発へ展開	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイル開発の人材を拡大している車載機器開発へシフト成功 ・新規及び既存顧客のビジネス拡大中（車載の前年同期比は、88%増）
■医療機器分野への参入	第三者検証の技術を用い医療機器分野へ参画し、開発業務へ業務拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・大手医療機器メーカーの検証案件が順調に拡大 ・新たに開発案件も受注
■新規IoT(※1)分野への参入	モバイル開発や情報家電開発で培った通信技術を活かした、O2O(オンラインtoオフライン)サービスのソリューション開発	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の技術力が評価され、IoT分野の新規案件獲得に向け、既存大手メーカーと協力して提案中

(※1) IoT(Internet of Things:モノのインターネット)とは、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うことをいいます。

コンピュータ販売事業

成長戦略		第1四半期：進捗状況
項目	内容	
■ 中小零細企業向けの新しい商材の開発販売	① 既存顧客への自社商品・他社商品の重ね売り	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ機器(UTM※3)等、既存顧客への重ね売りが順調に推移 ・マイナンバー対応ソフトへの改修案件が出始めた
	② 楽一のオプション製品「楽らくPCI出力支援 Powered by xoBlos(※1) や「楽らくページ(※2)」の販売促進	
■ 新規顧客獲得による売上拡大	① 高崎テレコールセンターを活用した新規顧客開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛拠点より、香川県へ進出し新規顧客開拓中
	② 営業エリア拡大による新規顧客開拓	

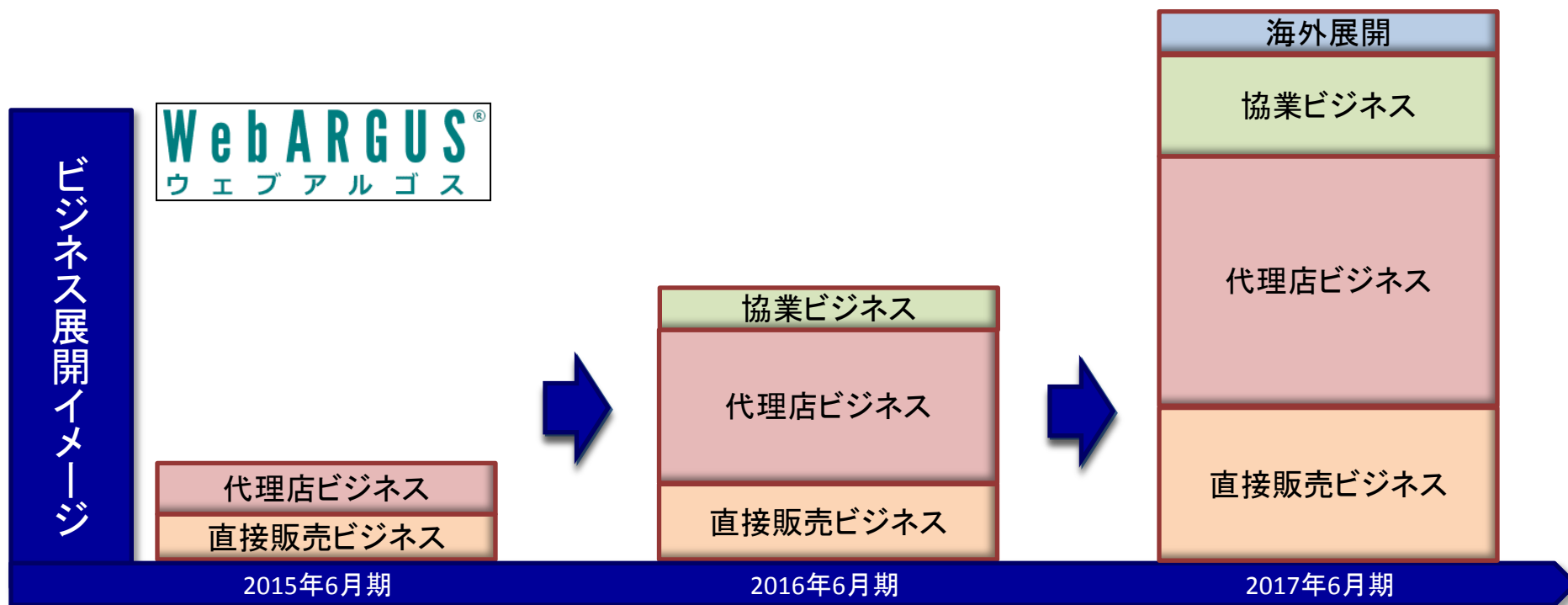
※1:「楽らくPC出力支援 Powered by xoBlos」は、直観的な操作性と利便性を取入れた、楽一のデータを最大限に活用する為のソフトです。楽一の売上・仕入取引データや顧客データなどを簡単操作でExcelへ取り出すことが可能となります。

※2:「楽らくページ」は、専門的な知識がなくてもホームページを編集・更新できるようにしたホームページ作成支援サービスです。

※3: UTMとは、ファイアウォールやVPNゲートウェイの機能に加え、メールやWebコンテンツのセキュリティをチェックする機能などを搭載した統合的なセキュリティ装置のことです。

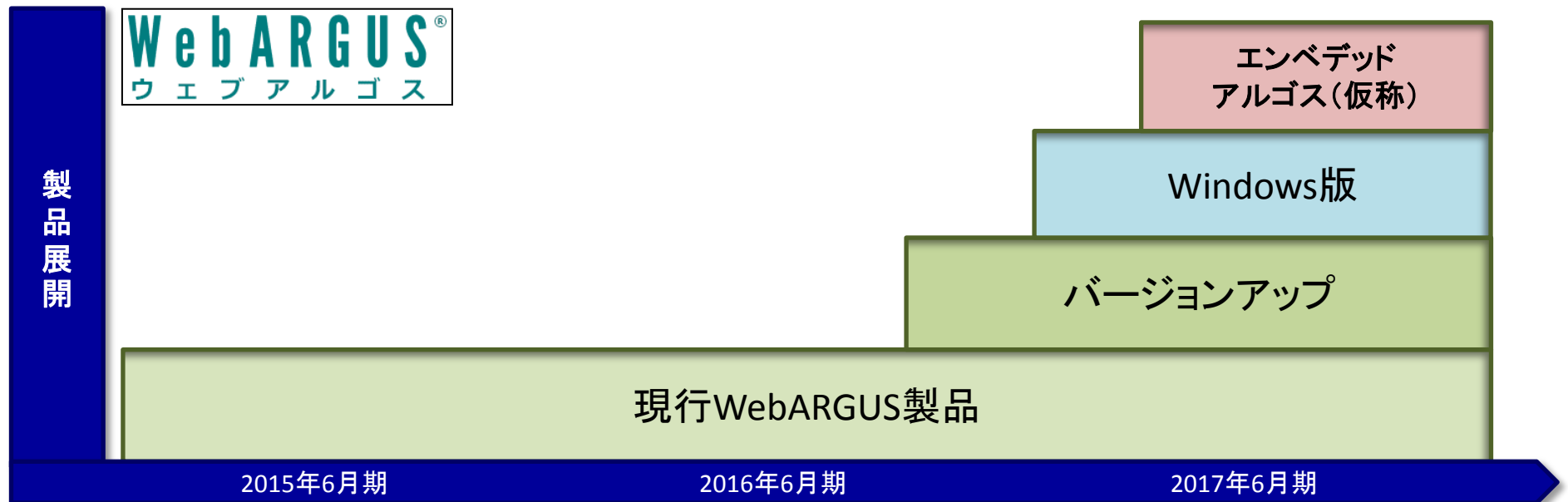
WebARGUS(ウェブアルゴス)の販売強化

- ①代理店販売の強化: 今期目標として代理店数倍増(契約済9社/1Q契約:1社/検討14社)
- ②協業によるビジネス展開: 今期目標として5社と協業(1Q:新たに2社と協業発表済み)
- ③海外展開: 今期目標として海外展開へ向けた販路開拓(1Q:米国商標登録完了)



WebARGUS(ウェブアルゴス)の商品力拡充

- ①現行バージョンアップ(管理機能強化): 来年1月リリースへ向けて開発中
- ②Windows版の開発・展開: 来春リリースへ向けて開発中
- ③IoT時代のセキュリティ対策: エンベデッドアルゴス(仮称)プロトタイプ展示会出展実施
→各大手メーカーと検討開始



WebARGUS(ウェブアルゴス):セキュリティ意識の向上

【課題:企業のセキュリティに対する意識】

セキュリティ意識の高い企業は積極的に導入検討して頂いているが、セキュリティ意識が低い企業は導入まで時間がかかる

【セキュリティ意識向上対策】

- ・展示会出展、セミナー開催等を実施し、ウェブ改ざん対策の重要性を啓発
- ・デモサイト(弊社)に対する改ざん攻撃の実態を積極的に公開する

■第1四半期実績

展示会出展:1回、セミナー:6回開催

【日本政府によるセキュリティ対策】

- ・サイバーセキュリティ戦略本部にて「サイバーセキュリティ戦略」が決定
- ・金融庁が「金融分野におけるサイバーセキュリティ強化に向けた取組方針について」を発表

■経済産業省・総務省がサポートする「IoT推進コンソーシアム(※)」へ参画



(※)IoT推進コンソーシアムは、産学官が参画・連携し、IoT推進に関する技術の開発・実証や新たなビジネスモデルの創出推進するための体制を構築することを目的として2015年10月に設立されました。

xoBlos(ゾブロス)の販売強化・商品力拡充

■xoBlos(ゾブロス)とは「データ変換・帳票作成ソリューション」



- ①導入の簡素化による裾野の拡大:顧客の個別ニーズが高い予算策定・予実管理を第1弾としてテンプレート化
- ②Server版「xoBlos corabo(コラボ)」を拡販:「1部門から全社活用へ」の顧客ニーズに対応

(※)Microsoft Excel は、米国MicrosoftCorporationの 米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1. 中期目標と2016年6月期の見通し
2. 成長戦略と進捗状況
- 3. 2016年6月期 第1四半期決算概要**

2016年6月期
第1四半期
決算ポイント

売上利益とも過去最高更新

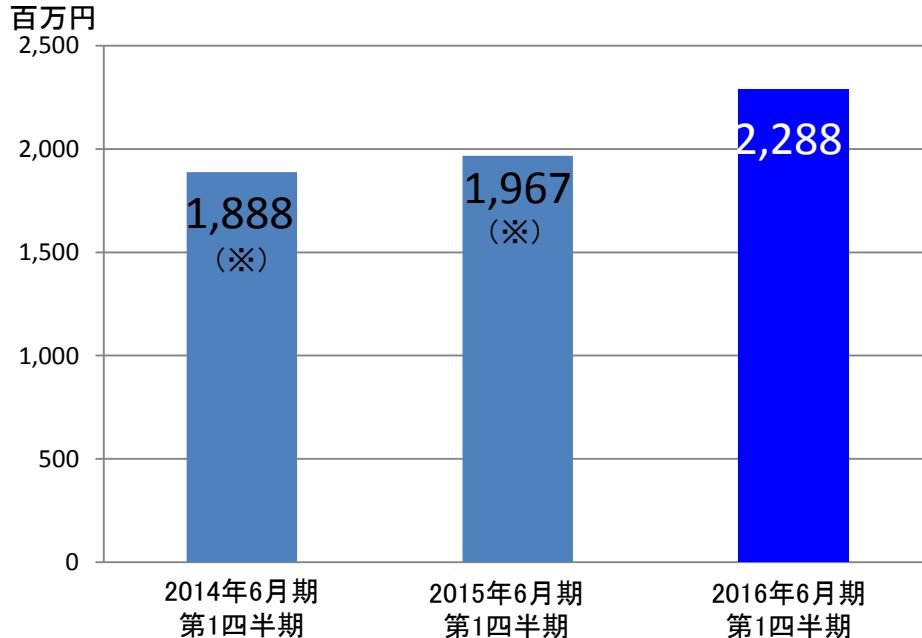
■売上高:2,288百万円(通期達成率:26.9%)

■営業利益:139百万円(通期達成率:32.6%)

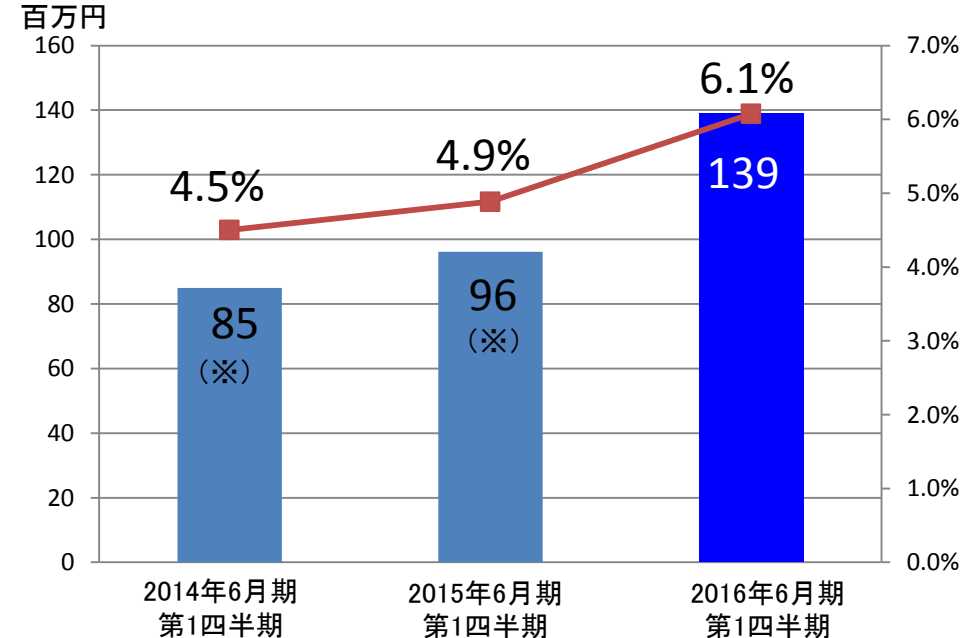
売上高 ■前期比: **+16.3%**増収
(※) (+32百万円)

営業利益 ■前期比: **+44.6%**増益
(※) (+43百万円)

■第1四半期:売上高(3ヵ年推移)



■第1四半期:営業利益・営業利益率(3ヵ年推移)



(※)2014年6月期 第1四半期及び2015年6月期 第1四半期数字については、監査を受けてはおりませんので参考値となります。以下同様。

■損益計算書:2016年6月期 第1四半期

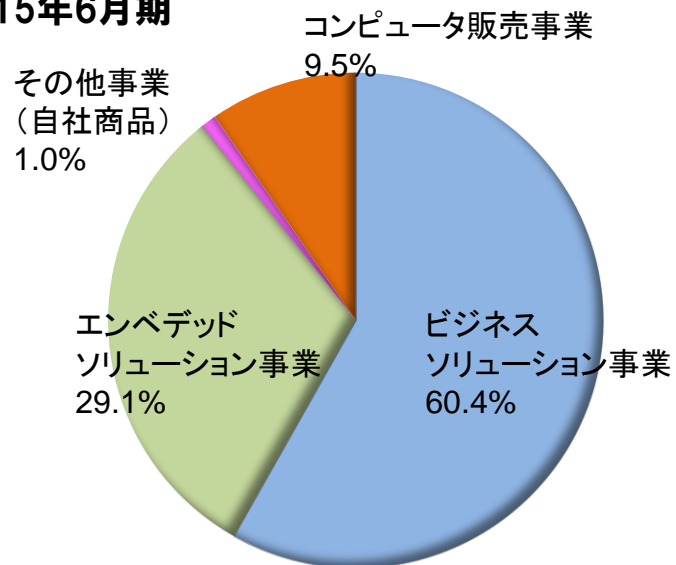
百万円

科目	2015年6月期 第1四半期		2016年6月期 第1四半期		前期比	前期差の要因
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	1,966	100.0%	2,288	100.0%	116.4%	・すべての事業において増収
売上総利益	434	22.1%	528	23.1%	121.6%	・売上高の増加に伴う増益 ・車載への要員シフトが成功
販売費及び一般管理費	336	17.1%	388	17.0%	115.2%	・営業要員等増強に伴う労務費の増加 ・広告宣伝費の増加 ・支払手数料の増加
営業利益	97	5.0%	139	6.1%	143.8%	
経常利益	97	5.0%	141	6.2%	145.0%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	53	2.7%	92	4.0%	171.5%	

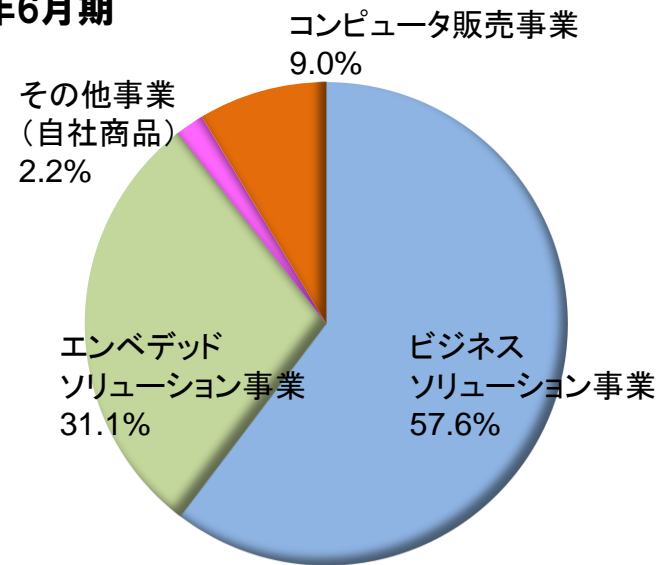
■セグメント別売上高①：2016年6月期 第1四半期

セグメント	2015年6月期 第1四半期	売上比率	2016年6月期 第1四半期	売上比率	前期比
ソフトウェア開発事業	1,780	90.5%	2,082	91.0%	116.9%
ビジネスソリューション事業 (業務システム開発/運用サポート)	1,189	60.4%	1,318	57.6%	110.9%
エンベデッドソリューション事業 (組込み開発/組込み検証)	572	29.1%	713	31.1%	124.5%
その他事業(自社商品事業)	19	1.0%	51	2.2%	266.1%
コンピュータ販売事業 (カシオ「楽一」等の販売)	186	9.5%	206	9.0%	110.7%
連結合計	1,966	100.0%	2,288	100.0%	116.4%

■2015年6月期

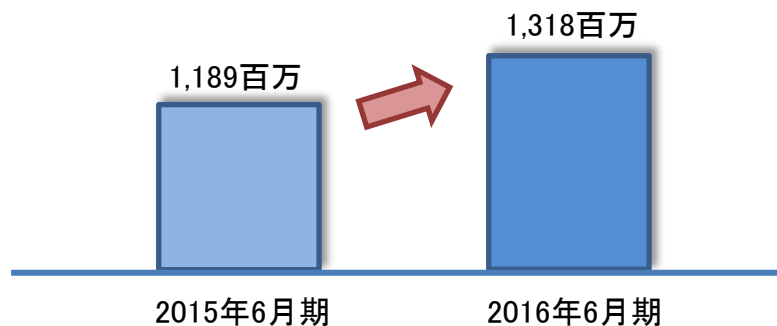


■2016年6月期



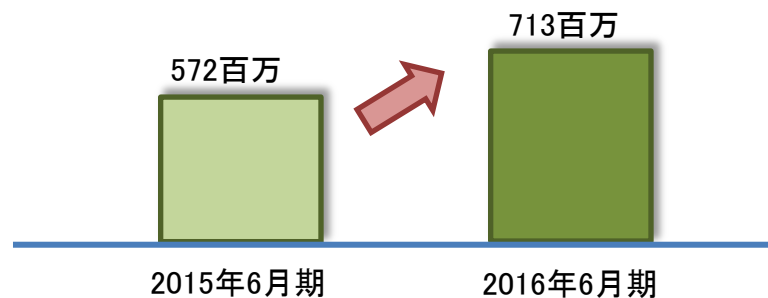
ビジネスソリューション事業

- 売上高: 1,318百万円 / 前期比: +10.9%
- ・金融系業務システム開発が堅調に推移
- ・運用サポートが堅調に推移



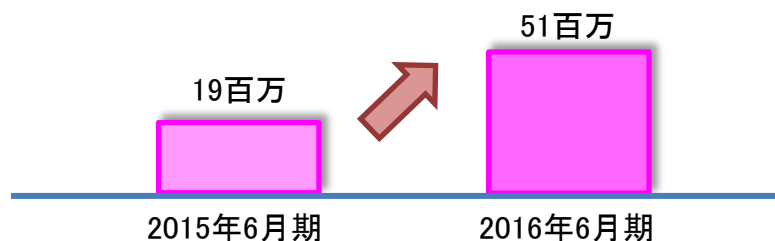
エンベデッドソリューション事業

- 売上高: 713百万円 / 前期比: +24.5%
- ・車載分野の開発・検証が好調
- ・医療分野の開発・検証が好調



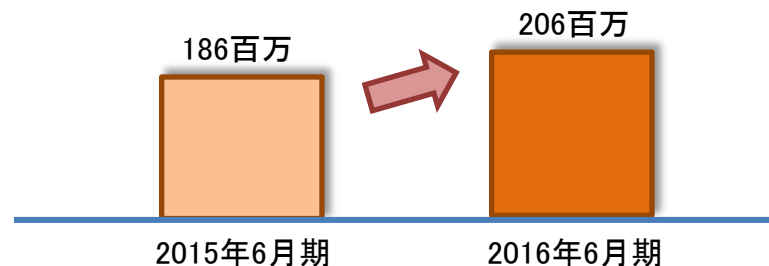
その他事業(自社商品事業)

- 売上高: 51百万円 / 前期比: +166.1%
- ・自社商品 (WebARGUS、xoBlos) が急伸



コンピュータ販売事業

- 売上高: 206百万円 / 前期比: +10.7%
- ・リプレースが堅調に推移
- ・重ね売りが好調





デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社

- ・この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ・本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・それらはリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。